

# 同窓会誌

同窓会 60周年  
記念特集号 63



特集

同窓会が歩んだ60年

同窓会60年のあゆみ（年表）

教育学部ホームカミングデー

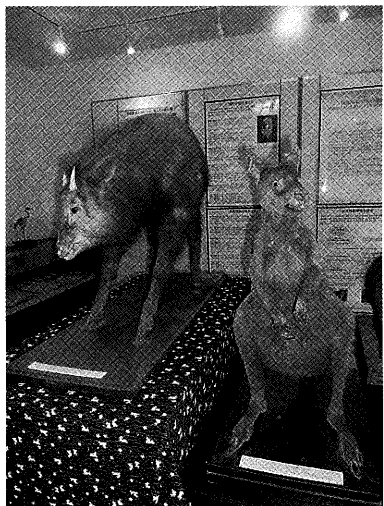
「みんなで語ろう同窓会の60年！」

*N. Kasai*

島根大学教育学部同窓会

## 島根師範学校の遺産

～伝え遺されてきた近代の標本たち～

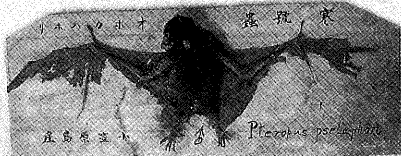


ニホンカモシカとワラビー

ニホンカモシカは特別天然記念物に指定され現在では捕獲不可能

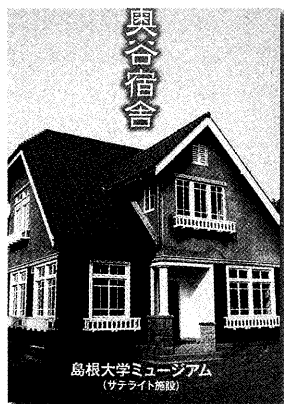
島根師範学校で教材として使われていた標本が長年附属中学校の倉庫などに眠っていたが、このほど「島根大学ミュージアム」に整理され一般市民を含めて誰でも鑑賞できるようになった。

標本は1930年代～40年代に作られたとみられるが詳細は不明。保存状態は良好で、学術的にも貴重。



オガサワラオオコウモリ

2011年に世界遺産に登録された小笠原諸島の固有種

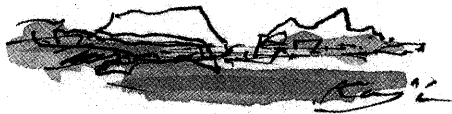


島根大学ミュージアム  
(サテライト施設)

これらの標本は戦前の師範学校教育の実際を語るとともに、ひいては近代学校教育の歴史を知る上に貴重で、島根大学ではこのほどサテライトミュージアム・旧国谷外人宿舎を会場に『島根師範学校の遺産～島根大学に伝え遺された近代の標本たち～』という企画展示を行って一般公開した。

島根大学サテライトミュージアム（松江市国谷町140）は旧島根大学宿舎（旧制松江高等学校外人宿舎＝国登録有形文化財）を改装して開設されました。散策をかねてぜひ一度訪れてみて下さい。

# 目 次



母校今昔	表紙裏
「同窓会設立60周年をむかえて」 －「ゆるいつながら」と「深いつながら」と－	
	同窓会長 田 中 瑩 (2)

## 教育学部最前線

### 教育学部の免許更新講習の取り組みについて

	金子 泰 久 (4)
--	------------

同窓会60周年



### 「教育学部同窓会が歩んだ60年」

□教育学部同窓会60年のあゆみ (年表)	(13)
----------------------	------

#### □教育学部ホームカミングデー

「みんなで語ろう同窓会の60年！」	(17)
-------------------	------

・和田 貞夫 ・織奥 信男 ・伊藤 範子 ・永濱 順子 ・加田 達也

第5回島根大学ホームカミングデー	(26)
------------------	------

同窓のゆかりをたずねる－吉岡隆徳顕彰像(「努力」)－	(27)
----------------------------	------

私の研究紹介	(28)
--------	------

被災地での読み聞かせ－石巻の子どもたち－	(30)
----------------------	------

ご退職の先生を送る	(32)
-----------	------

## 支部からの声

### 専攻だより ー研究室はいまー

平成22年度島根大学教育学部卒業論文題目一覧	(64)
------------------------	------

平成22年度島根大学大学院教育学研究科修士論文題目一覧	(70)
-----------------------------	------

### 近況報告

本部だより	(54)	有志会・同期生会だより	(56)
-------	------	-------------	------

クリックしてね！－島根大学教育学部同窓会ホームページご案内－	(11)
--------------------------------	------

事務局より	(11)(43)(46)(75)(76)(77)(78)(79)
-------	----------------------------------

受贈図書紹介	(10)(24)	表紙に寄せて・編集後記	(80)
--------	----------	-------------	------

## 同窓会設立六〇周年をむかえて

—「ゆるいつながり」と「深いつながり」と—

同窓会長 田中 瑩

### 床下から見つかった芳名録

広島県のある村。——お堂に安置されていた三体の仏像が朽ちかけていることが分かりました。しかし、過疎化、高齢化で費用負担も重い。とりあえず一体だけを修理することにして、長い間お参りしなかったお堂に行ってみると、シロアリが入り込んでいます。床下にセメントをはろうということになって潜ってみたら、昔の寄付者名を記した一枚の板が出てきました。黙って読み進む村人たち。一人の古老がつぶやきます。「これ、うちのひい爺さんじゃ。〇〇の子が〇〇。その子が〇〇。その子がわしじゃけえ……。」

先日のTVで放映された一場面です。「昔の人が一つの目標に心を向けて力を合わせてきたことがよう分かる」と語った村人の顔がアップで映し出されました。

### 「横のつながり」と「縦のつながり」と

今年「絆」や「つながり」という言葉をよく聞きました。時代の情緒をとらえたキーワードと言えるでしょう。携帯電話などが普及して、コミュニケーションのあ

りようが変って来ていることへの危機感があらわれているのかもかもしれません。しかし、もしそれだけだったら、それは単に同時代（あるいは同世代）の、いわば横のつながりに目を向けたということでしょう。先の村人たちが絶句したのは、床下の芳名録が語る、先人たちの強い意志を聴き取ったからにちがいありません。あれは単なる名前の羅列ではありませんでした。それぞれに暮らしの問題を抱えながらも、お堂の仏像を守ることを一つの目標として共有しあつた昔の人から今に続く縦のつながり……。この村のこれからの修復事業は、そのつながりを心にとめることで、確実に進んで行くだろうと予感できました。

### 「つながり」をふりかえる

これを見ながら私は、同窓会のことを考えました。各期の集まりが盛んに開かれていることは、これはもちろん喜ばしいことです。それは横軸。縦軸のつながりを確かめあうための全体企画は如何にあるべきか。

今年「統合同窓会設立六〇周年」ということで、「みんな

なで語ろう同窓会の六〇年」というテーマで様々な立場の代表者から発表していただき、語り合う会を開きました。内容はきわめて充実して盛り上がり、参会者はそれぞれに、同窓としてのつながりの意味を再確認することが出来ました。

六〇周年にはもちろん前史があります。母校の淵源は明治八年設置の松江教員伝習校にさかのぼります。これが翌年松江師範学校と改まり、さらに幾たびかの制度改革を経たのち、島根師範、同女子師範、同青年師範を統合して、戦後、昭和二十四年に島根大学教育学部となりました。前身校からの同窓会を一つに、新しい組織として生まれたのが昭和二十六年。大学になってからの卒業生も、一期生はすでに八〇歳を越えました。同期の集まりも困難になりつつあります。そこで今年を一つの節目に立てて、先輩たちが「一つの目標に心を向けて」力をつくして来られた「縦軸のつながり」を振り返ってみることにしたのです。

### 「会誌」「広報紙」「ホームページ」「同窓会名簿」

今、同窓会として力を入れていることが二つあります。一つは、母校と同窓会の情報を、出来るだけ濃密に会員にお届けし、共有できるようにすること。そのため、『同窓会誌』に加えて、広報紙「leaf@同窓会」を新たに発刊し、またホームページを通して発信することに

努めています。この三つのチャンネルへ是非アクセスをお願いします。

今一つは、来年発行する同窓会名簿を出来るだけ完全なものに整備すること。個人情報コントロールには十分配慮しなければなりません。あの、広島のお堂の床下の名簿が、世紀を越えてなお力強いメッセージを村人たちに語りかけていたことを思うとき、名簿作成をおろそかにすることはできません。この会誌がお手元に届く頃には、名簿作成のためのお願いのハガキが届いていると思います。よろしくご協力をお願いします。

### 「ゆるいつながり」と「深いつながり」と

「絆」とは「絶つことの出来ない深いつながり」の謂いだと言います。そこが、「ゆるいつながり」を是とする最近の流れとずれるところでもあり、また逆に清涼剤ともなるところなのでしょう。「深いつながり」を「嫌でも切れないつながり」と受け取るか、「一定の価値をもって意味づけられたつながり」と受け取るか、時代は次第に後者へ軸足を移しているように思われます。同窓会が提供する情報が、ただ寄せ集められたそれではなく、会員にとって価値のある、よりよく意味づけられた情報になるように、これからも努めてまいります。